

激動の人生を送り、味わい深い演奏で聴衆を魅了してやまないフジコ・ヘミング。5月に、所沢ミューズの長期休館前のラストリサイタルで再びアークホールに登場します。ピアノと出逢った幼少期から、現在のパリと東京での暮らし今まで、様々なお話を伺いました。

### ✿ 幼少期～ピアノとの出逢い

6歳の頃でしたか、大田区の大森に住んでいました。子供向きの大きな楽譜の下段に色鮮やかなおとぎ話のようななさし絵が入ついて、それを見るたびに胸がワクワクしましたが、肝心の音楽の方はまったく覚えていません（笑）。

### ✿ 子供の頃～レッスンの思い出

私は一人でいるのが好きな性質で、友人とはがっかりするような思い出の方が多いです。小学校のときレオニード・クロイツァー先生のレッスンでショパンを弾きましたら、彼はおどりあがって喜び「いまに世界中の人のを感じさせる」と母に云っていました。

16歳で右耳がまったく聴こえなくなり、コンサートをしても自分は上手なのか下手なのかわかりませんでした。当時はテープレコードもなにもありませんから。

### ✿ ベルリンとウィーンの留学時代

私の子供のときからの師、レオニード・ク

# 魂のピアニスト フジコ・ヘミング



# Ingrid Fuzjko Hemming

ロイツァー先生は、いまだモスクワ・フィルの方たちも知っている大物です。でも、留学したベルリン芸術大学には、クロイツァー先生のような天才はいませんでしたから、がっかりしました。ドイツではスカラシップ（奨学金）をたくさん頂いたので助かりました。が・・・（笑）。  
ウィーンでは、バドウラ・スコダ先生の家で演奏を聞いてもらつたのですが、テクニックの不足を指摘されました。でも彼は私のショパンが一番気に入っているようでした。「あなたはすばらしいから自分の好きなように演奏しなさい」と云つて下さいました。ウィーンでの生活はどろぬまでした。大好きな犬も猫もいない。お金もない（笑）。でも、レナード・バーンスタインに出逢うことができたのは最高でした。

### ✿ 思い出の楽譜 ～思い出に残る共演者

思い出の楽譜は子供のときに使つていて、レオニード・クロイツァー先生をおどりあがらせたショパンの楽譜くらいのものでしょか。その楽譜は今までパリにあります。が、お見せするほどのものでもないでしょ（笑）。

モスクワ・フィル、ヴァイオリンのマキシム・ヴェンゲーロフ、チェロのミツシャ・マイスクのバルセロナ、モスクワ、サンフランシスコ、ニューヨーク、ミンスク、パリ、ブダペスト、ブカレストなど、いろいろな町で演奏するたびにサインを求められ嬉しい気分です。

スタインくらいのものです。ピアニストではありません。まねしたいと思う弾き方をしているのはラフマニノフくらいです。

### ✿ 愛するワンちゃん・猫ちゃんについて

犬と猫は、私の大切な「ハンリヨ」です。人間はしゃべりすぎるの、いつも傷ついてしまいますが、動物たちは無言で寄りそつてくれます。彼らなしにいまの私はなかつたと云つていいでしょう。20代の頃は捨て犬をかつっていましたが、私のショパンやチャイコフスキイを聴くと歌う犬で、テレビ局から取材に来て、スタジオにも呼ばれてライブ放映されました（笑）。

いま、東京にいる25匹の猫のうち1匹だけ私の演奏を聴いているのがいます。ピアノの上ですじつと聴いていますが、いつもではあります。パリのワン公も東京で去年死んでしまった犬も全然です。演奏を聴いてもなにも感じないようです。

注）フジコさんにご回答いただいた表現を尊重して編集しました。（編集部）

どの画家が好きとは特に云えませんが、その中のどの画とは云えます。特に気に入っています。父が日本を去るとき、母にくれぐれも子供を画家にはしない様たのんだそうですね（笑）。

どの画家が好きとは特に云えませんが、その中のどの画とは云えます。特に気に入っています。口一トレック、北斎など。口一トレックのふで使いは北斎にも書いていますね。

### ✿ 絵画への思い

私の父は当時、朝日イブニングニュース紙に連載でマンガを出しているくらいの天才でし

たが、戦争でチャンスも消えてしまったと思

います。父が日本を去るとき、母にくれぐれ

も子供を画家にはしない様たのんだそうです

（笑）。

どの画家が好きとは特に云えませんが、その

中のどの画とは云えます。特に気に入っています。口一トレック、北斎など。口一トレック

のふで使いは北斎にも書いていますね。

### ✿ 敬愛する音楽家

指揮者で敬愛するとすれば、ベネズエラのグ

スター・ヴォ・ドゥダメル、レナード・バー



幼少の頃  
ピアノと出逢うのはもう少し後



ラフマニノフとも共演した  
偉大な音楽家 恩師の  
レオニード・クロイツァー先生



フジコさん  
の人生に大きな  
影響を与えた  
名指揮者  
レナード・バー  
ンスティン



パリの街角で



犬や家族と散歩するが  
楽しみ



絵を描くのが好きなのは  
父親譲り



フジコさんがピ  
アニストとして  
敬愛する  
セルゲイ・ラフ  
マニノフ



人生の大切な「ハンリヨ」  
猫ちゃんと

**フジコ・ヘミング  
ピアノソロコンサート**

5月5日（土・祝）  
14:15開場 15:00開演  
アークホール  
S席 ¥10,000  
A席 ¥8,000  
B席 ¥6,000

曲目◆リスト：ラ・カンパネラ ほか  
※未就学児の入場はご遠慮ください。  
好評発売中

